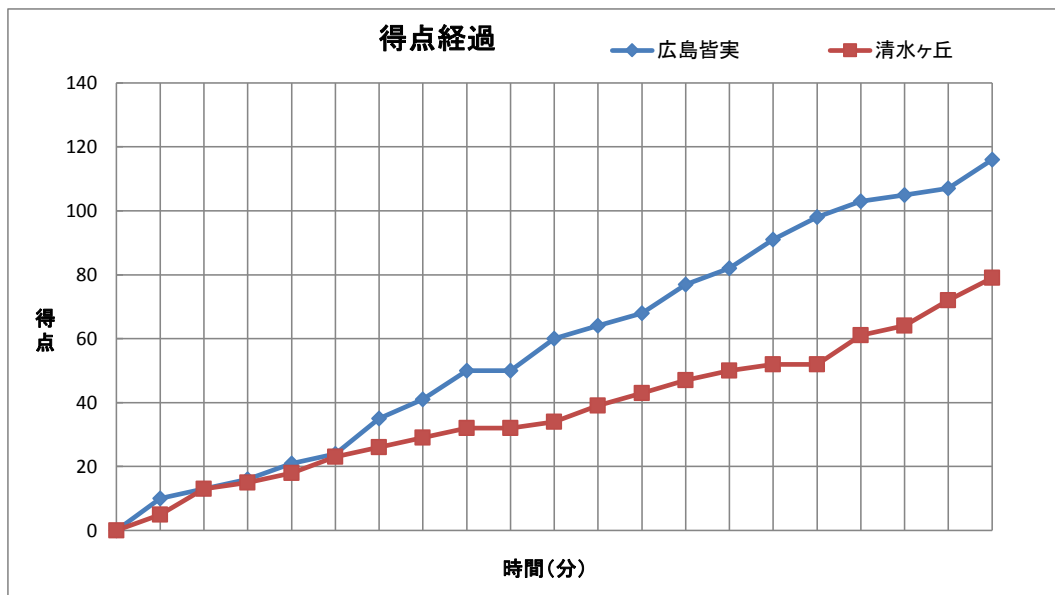


個人トータル表

女子														令和4年11月22日 11:00 開始			
決勝														広島サンプラザ P			
◎																	
広島皆実 116				24 1st 23				79				清水ヶ丘					
(広島県)				36 2nd 11								(広島県)					
				31 3rd 18													
				25 4th 27													
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
* 4	田邊 観愛	12	2	3	0	0	* 4	藤光 音葉	16	2	5	0	2				
* 5	森田 花菜	19	2	6	1	2	5	小松 未羽	-	-	-	-	-				
* 6	三次 真歩	27	5	6	0	3	6	井成 花	3	1	0	0	1				
7	藤川 凜里	2	0	1	0	0	* 7	松浦 心春	2	0	1	0	5				
8	林 陽菜実	0	0	0	0	0	8	下原 夢乃	-	-	-	-	-				
9	藤田 涼音	0	0	0	0	0	* 9	住吉 舞花	19	5	2	0	1				
10	西宮 侑紀	0	0	0	0	0	10	荒木 夏歩	-	-	-	-	-				
11	平田 彩光	13	3	2	0	0	* 11	横丸 紗也	14	2	4	0	2				
* 12	大上 粹奈	24	0	11	2	0	12	平川 美沙	-	-	-	-	-				
13	西名 真涉	0	0	0	0	0	13	仲山 志希	-	-	-	-	-				
* 14	松前 結奈	11	1	4	0	1	14	樽本 和香	0	0	0	0	1				
15	小西 史夏	1	0	0	1	1	15	大嶋 美桜	-	-	-	-	-				
16	田所 彩実南	2	0	1	0	1	16	三田 知優	-	-	-	-	-				
17	橋本 幸々路	5	1	1	0	0	17	早稲田 彩湖	-	-	-	-	-				
18	銭谷 花菜	0	0	0	0	0	* 18	新宅 真未	22	6	2	0	3				
コーチ	村井 幸太郎					0	コーチ	小原 健太					0				
Aコーチ	福田 理恵						Aコーチ	林 眞優実									
合計		116	13	33	4	7	合計		76	10	12	0	12				
主審: 森原 隆																	
副審: 津田 弥子																	
副審: 三島 彩																	



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	:	:	:	:
TeamB	14:19	34:35	37:24	39:35	:	:

〔戦評〕 スタート 広島皆実#4.5.6.12.14 清水ヶ丘#4.7.9.11.18
 1Q 広島皆実はオールコートマンツーマン、清水ヶ丘はハーフマンツーマンで試合開始。試合開始から、両者激しいディフェンスでミス誘発し、速攻で得点を重ねていく。清水ヶ丘#4、#9の速攻からタイミングのよい3ポイントで、残り3分30秒、16-15となる。広島皆実はおフェンスをコントロールしようとするが、清水ヶ丘の高い位置からのトラップでミスが多発する。ボールを奪った清水ヶ丘は、タイミングよいスリーポイントショットで喰らいつく。広島皆実が24-23リード。第1ピリオド終了。
 2Q 広島皆実は、#12を起点にゲームを展開していく。広島皆実#14のスティールから速攻で加点し、43-29。残り5分40秒で流れを切りたい清水ヶ丘がタイムアウトを要求。タイムアウト後、清水ヶ丘は広島皆実のオールコートトラップに対して1on1から3ポイントを果敢に狙っていく。シュートで攻撃を終えるが、リバウンドが取れず徐々に点差が開いていく。皆実はおフェンスでリズムを立て直し始め、60-34。広島皆実リードで、第2ピリオド終了。
 3Q 清水ヶ丘#11のリバウンドから速攻の得点でゲーム開始。清水ヶ丘はダブルチームからスティールを狙い、速いおフェンスを作る。ポイントを押さえたディフェンスで皆実を困惑させるが、なかなか点差がつかまらない。広島皆実はお前半と変わらずオールコートディフェンスでリズムを作り、#5のジャンプシュートやアウトサイドからの合わせで#12が確実に得点していく。91-52で変わらず皆実がリードで終了。
 4Q 4Qになっても、清水ヶ丘は自分たちのバスケットスタイルである遠い距離の3ポイントを狙い続け、リバウンドルーズを頑張り続ける。試合開始清水ヶ丘の#18.9の3ポイントシュートが決まり果敢に攻めていく。対して、広島皆実はお落ち着いたゲームを作ろうとするが、外角のシュートが決まらない。それでも、激しいオールコートプレスディフェンスを続け確実に点を重ねていき、116-79で広島皆実が勝利を納めた。最後まで戦い続けた清水ヶ丘にも拍手を送りたい。
 両チームの全国大会での活躍に期待する。

戦評: 小松広道

記録: